

WE LOVE 北鯖石 はばたこう未来へ！

北 星



柏崎市立北鯖石小学校
学校だより 434号

令和7年 10月 発行

柏崎市中田1743-2

TEL 0257-22-4454

FAX 0257-20-1753

E-mail kitasaba@kenet.ed.jp



理科か国語科か？ 多角的にとらえる

増井 貴

夏休み明け。理科の授業のため教室に入り、黒板に次の和歌を書きました。

秋来ぬと 目にはさやかに 見えねども 風の音にぞ 驚かれぬる

古今和歌集に載っている藤原敏行の歌です。そして、この歌の意味を話し始めたのですが、子どもたちにはあまり興味のない内容だったようで…。「先生、国語やだあ」と返事が返ってきました。

ところで、私は、この歌を「地球が地軸を傾けて自転しながら公転して、暑いと思っていた夏もようやく終わり、季節が確実に変化してしている」という科学的な視点で話をするつもりだったのです。しかし、子どもたちには「古文を現代文に訳して説明を聞く」という国語科的な活動ととらえていたのです。この話をするには（学年が）ちょっと早かったのだと反省しました。

これからの学習には、教科横断、教科融合、STEAMの視点が求められます。聞きなじみのない言葉かもしれません（検索してみてください）。

イメージしやすいのは、自然教室です。カレーを作るのは家庭科、火を起こすのは理科、時間に間に合うよう行動するのは道德。キャンプファイヤーで歌を歌うのは音楽、踊れば体育、星空を眺めれば理科。ウォークラリーは体育、そこで生き物を見つければ理科、拾ったどんぐりで作品つくれば図工。…このように、自然教室では、教科固有の知識が総合的に発揮されます。自然教室を充実させるという課題に対して、今まで学習したことが総合的に試されるわけです。

小中学校では、生活科や総合的な学習の時間で、教科横断的な学習をしています。私たちの身の回りから課題を見つけ、その解決方法について話し合ったり、活動したり、まとめ方について工夫したりしながら学習していきます。

このとき大切になるのは多角的なものの見方です。冒頭の和歌の例で言うと、対象を理科としても国語としても捉えることができるということ。私がもっと歴史に詳しくれば、その和歌が詠まれた時代背景について考えが及び、社会科的なとらえ方ができたかもしれません。つまり、多角的に見ることができると、理解がより深まり、新たな疑問も生まれて学習が楽しく主体的になっていくと考えられます。この多角的にものを見るというのは、一人では限界があります。そこで必要になるのは友だちです。友だちと意見を交わすことで、自分には考えつかなかったアイディアが出てくることがあります。

文部科学省が学習指導要領でいみじくも指摘しているキーワードは「主体的・対話的で深い学びの実現」です。学校は、友だちと対話しながら多角的にものごとをとらえ、より深い学びを得ることができ、新たな課題に主体的に向かうことのできる素敵な場所なのです。

学校評価の結果について～保護者・児童アンケートの結果より～

7月の前期学校評価アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。同時期に、子どもたちにもアンケートを実施した集計の結果をお知らせします。いただきましたご意見は職員で共有し、後期の教育活動に生かしていきます。

保護者アンケート、児童アンケートともに、多くの項目の肯定的評価が上がりました。「あいさつ」「思いやりのある言動や言葉がけをする」「自分のめあてに向かって運動に取り組む(運動をしている)」は、保護者、児童ともに高い評価となっています。学習活動や行事、縦割り班活動など、子どもたちは、「なりたい自分」に向かって努力する、人とのかかわりながら自分のよさを感じる体験を経て、自分らしさを育み成長していきます。一人一人のよさを発揮し、認め合える学校生活をめざして、日々の教育活動に取り組んでいきます。

柏崎市全体で進めている「家庭学習習慣の推進」に関連する質問項目「日頃から家庭学習をしていますか」についての肯定的評価は、児童は84%と大きく伸びています。保護者は、75%と前回と同じでした。自分で主体的に学習に取り組む力は、学びの大事な力の一つです。自ら学習に取り組む意欲が高まる授業や活動の工夫、家庭学習の内容の提案、努力している子どもたちへの賞賛をさらに意識して取り組んでいきます。

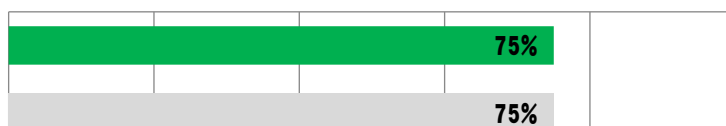
今後も子どもたちの成長を、家庭・学校・地域で連携し支えていければと考えております。引き続き、北鯖石小学校の教育活動にご理解とご協力をお願いいたします。

保護者アンケート 上段：R7前期 下段：R6後期

0% 20% 40% 60% 80% 100%

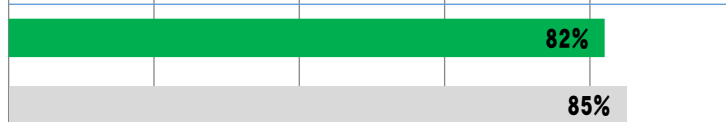
Q1 お子さんは、日ごろから家庭学習をしていますか。

※学年×10分※読書を含む※児童クラブでの学習も含む

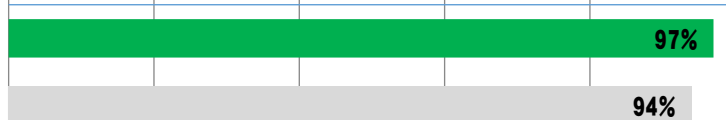


Q2 あなたは、お子さんが家庭学習に取り組むよう

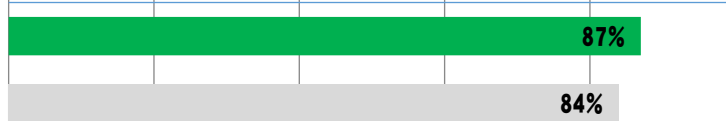
声掛けや確認をしていますか。※昨年度、実施せず



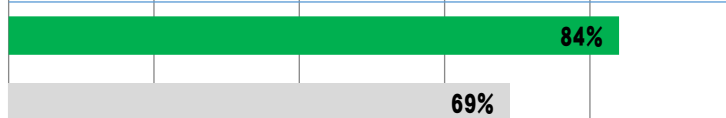
Q3 お子さんは周りの人(友達、家族など)に思いやりの気持ちをもって接していますか。



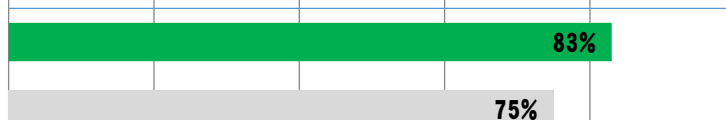
Q4 お子さんは、家庭や地域であいさつをしていますか。



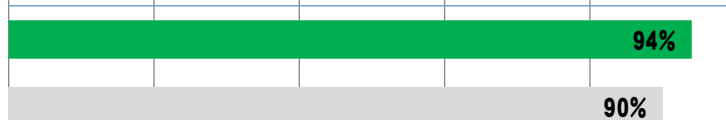
Q5 お子さんは、体を動かした遊びや運動をしていますか。※社会体育、習い事を含む



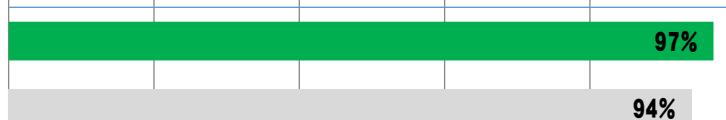
Q6 お子さんは、「学習・生活パワーアップ週間」で、メディアの時間と就寝時刻のめあてを達成しようと努力していましたか。



Q7 学校の様子や取組は、よく伝えられていますか。



Q8 学校は一人一人の子どもを大切にし、心を通わせながら教育を行っていると感じますか。



保護者アンケート 記述より

貴重なご意見をたくさんいただきましたので、一部を紹介し学校の対応をお知らせします。なお、早めの対応が必要と判断したご意見については対応させていただきました。また、記述文章につきましては、紙面の関係により簡素化した文章にしてあることを申し添えます。

記述内容	学校から
子どもに寄り添って話を聞いていただき、ありがとうございます。	日々の指導に対して謝意のお言葉をいただき、心から感謝いたします。北鯖石の子どもたちのために今後も教育活動に邁進していきますので、よろしくお願いします。
子どもたちがのびのびと活動できるよう、いつも見守り支援してくださりありがとうございます。	
おたよりがカラーになり子どもたちの写真をたくさん載せてくださり、様子がよくわかりうれしいです。	
個別懇談会では子どものよいところをたくさん教えていただきうれしかったです。家でもたくさん褒めたいと思います。	
提出物や宿題等、家でも丸付けをし目を通しますが、先生からも目を通していただき、声掛けをしていただけるとありがたい。	日頃より子どもたちの家庭学習を見ていただき、ありがとうございます。宿題やプリント等、担任もチェックしておりますが、子どもたちへの声掛けを継続していきます。また、学年に応じた自主学習に取り組めるよう学校からも自学メニューや、自学の紹介等をしていきます。
宿題が大変だが、本人のペースでがんばっている。	
宿題はしているが、自学はあまりやっていないので、今後は自学の時間を意識させるようにしたい。	
物価高になっている昨今、自然教室や修学旅行で変わらない予算内での食事や体験活動は厳しいのではないかと。子どもの有意義な活動のために予算の相談をしてほしい。	自然教室、修学旅行については、該当学年に費用、旅行内容について学年だよりや学級懇談会でお知らせをしております。今年度は、昨年度よりも費用が若干高くなっております。子どもたちの充実した活動内容と共に、積立金とのバランスを考えた費用で自然教室、修学旅行が実施できるよう提案していきます。
水泳授業が毎日連続で続くのは、小学生には辛いと思う。水泳の疲労、暑い中の下校や宿題や家庭学習、習い事などでも疲れている。	水泳授業は、概ね8～10時間取り組む計画となっています。水泳授業は短期集中で取り組むため、天候等で左右され、授業日が連続になってしまった時もありました。水泳授業時は、一人一人の泳力に合わせた指導を行っています。子どもたちの様子を見て、来年度の指導に努めていきます。
運動会で踊っている「よっちょれ」は、運動会前だけでなく、体育の準備運動等で通年で取り組むのはどうか。	体育の準備運動は、その時に取り組んでいる学習内容に合わせて行っています。短い練習期間ですが、「よっちょれ」は、運動会で披露する、上級生が下級生に教えるという目的をもって取り組んでいます。
1、2年生で野菜を育てる活動をしたが、3年生以上でも栽培活動はあるのか。	3年以上では、理科の授業で植物の栽培や、5年生の総合的な学習の時間に稲作体験があります。収穫したお米をどうするか子どもたちを中心に話し合い、販売、調理実習等の活動をしています。

児童アンケート 上段：R7前期 下段：R6後期

